

2024 年度事業報告

2024 年度の社員総会で議決された事業計画の実施結果を以下のとおり報告する。

I. 総括

セーフティグローバル推進機構は、「安全・健康・ウェルビーイング」を提唱して、IEC 白書“Safety in the Future”への参画(2020 年)、第 2 回ビジョンゼロサミット(2022 年)の日本誘致、未来モノづくり国際 EXPO2023 内での展示会・シンポジウムの開催、書籍「実践！ウェルビーイング」の刊行などの活動を実施してきた。これらにより、世界各国の労働安全衛生関連団体と関係を構築し、国内外においてセーフティグローバル推進機構の認知度を高めてきた。2024 年度も、未来モノづくり国際 EXPO2024(11 月 13 日～15 日)内で、ウェルビーイングテックフォーラムを主催し、また、Global Initiative for Safety, Health & Well-being at EXPO2025 and Beyond(以下 GISHW)へ参画し大阪関西万博（以下 EXPO2025）における「安全・健康・ウェルビーイング」関連イベントの企画・準備を進めており、国内外でのプレゼンスを高めている。

上記の活動やモノづくり委員会への入会希望企業の増加により、新規入会数は順調に伸びている。

また、近年セーフティグローバル推進機構は、ケガ・病気・ストレスを最小化する(働く人々の状態をマイナスからゼロにする)のみならず、安全・健康・ウェルビーイングを向上させ(働く人々の状態をゼロからプラスにし)、生きがい・やりがい・働きがいを持って働ける社会を実現することを目指すべきであると提案している。そして、それを目指す技術を「ウェルビーイング・テック」と呼び、その適用を推進している。

II. 重点施策活動概要

1. 要員認証および適合審査

それぞれの拡大のための仕組みや組織化の検討と推進、新たな制度開発などに取り組んだ。

1) ロボットセーフティアセッサ資格認証制度

2024 年度のロボットセーフティアセッサ受験者数は 202 名であり、目標 260 名は未達に終わった。また前年度(231 名)実績からも減少に転じた。

ロボットセーフティアセッサのメインターゲットであるシステムインテグレータの受験者数の増加のために、日本ロボットシステムインテグレータ協会(以下 Sier 協会)向けにロボットアセッサ取得動機付け講習会を実施した(Sier 協会員 51 名が参加)。徐々にロボットアセッサの認知度は向上しているが、受験者の増加には結びついていない。引き続き Sier 協会員向けの受験促進活動を実施する。

2) セーフティオフィサ資格認証制度

建設業のセーフティオフィサ資格に対するニーズに応えるべく、2024 年 10 月から建設セーフティオフィサ資格の提供を開始した。

2024 年度のセーフティオフィサ資格の受験者は 812 名(建設セーフティオフィサ 83 名含む)であった。目標 1,350 名に大幅に未達であり、また前年度(1,179 名)から大きく減少している。大口顧客(会社の施策としてセーフティオフィサの取得を実施する企業)の対象者が受験を終え、その後顧客開拓ができていないことが大きな要因である。今後セーフティアセッサ資格を多数取得している企業へのセーフティオフィサ資格取得を促進する。

3) Safety2.0 適合審査登録制度

2024 年度の Safety2.0 適合審査登録数は 1 件であった。当初目標としていた 3 社のうち 2 社が顧客の事情により申請まで至らなかった。

2024 年度からセーフティグローバル推進機構をスキームオーナー、日本認証を認証機関とする新たな体制に変更した。また、審査の精度を高め、申請者の費用負担を軽くするために、申請内容に対して深い知識を持つ人や、セーフティアセッサの資格を所持するなど機械安全に関するスキルを持つ人が審査に参加できるよう、制度を見直した。これにより、2025 年度から新しい制度の運用を開始する。引き続き、会員企業を中心に Safety2.0 適合審査の認知活動と申請を促進する。

2. 広報・宣伝活動

1)安全経営フォーラム

2024 年 6 月 21 日ビジョンセンター新橋において、安全経営フォーラムを以下のテーマ・講演者で実施した。

① ロボットと作る未来～ロボット政策の方向性～

経済産業省 製造産業局 産業機械課 ロボット政策室 室長 石曾根 智昭 氏

② 協調安全のホリスティックアプローチの世界への発信

～GISHW 活動を通じて万博を活用した展示会・シンポジウムでの仲間作りや国際標準化推進による日本発の協調安全産業&ウェルビーイング・テック産業の創成～
一般社団法人セーフティグローバル推進機構 藤田 俊弘 理事

2)ウェルビーイング・テック、国際シンポジウム

2024 年 11 月 13 日から 15 日にかけて、未来モノづくり国際 EXPO2024 がインテックス大阪(大阪国際見本市会場)にて開催された。

本展示会内で、一般社団法人セーフティグローバル推進機構／ウェルビーイングテックインターナショナル企画推進委員会が「ウェルビーイングテックフォーラム」を主催。以下のプログラムを実施した。また、ロボットシステムにおける協調安全のコンセプト展示を実施した。

- ① 基調講演：GISHW の取り組みと EXPO2025 で国際連携が成し遂げようとしていること

GISHW 議長、セーフティグローバル推進機構 藤田 俊弘 理事

- ② 第一部：世界的な企業目標：安全、健康、ウェルビーイングの実現

【なぜ今、日本企業にとって世界潮流との連携が重要なのか】

ファシリテータ キャノングローバル戦略研究所 栗原 潤 氏 (IGSAP 理事)

- ③ 第二部：協調安全が推進する働く風景や環境の新たな創造

【人不足の時代に中小・中堅企業にも人とロボティクス・AI の共存環境の導入を】

ファシリテータ 産業技術総合研究所 谷川 民生 氏

セーフティグローバル推進機構 梶屋 俊幸 理事

- ④ 特別講演：EXPO 170 年の歴史上初【世界が目指す安全・健康・ウェルビーイング社会と GISHW の役割】

GISHW 副議長、国際労働災害予防基金(ORP)理事長 ハンスホルスト・コンコレフスキー 氏

- ⑤ 第三部：80 億人への贈り物：EXPO 2025 の歴史的イベント

【安全、健康、ウェルビーイングに関して EXPO2025 で成し遂げること
経営者必見】

ファシリテータ キャノングローバル戦略研究所 栗原 潤 氏 (IGSAP 理事)

3)雑誌への投稿

- ①日本規格協会グループの季刊誌『標準化と品質管理』2024 年冬号にて、「協調安全の国際標準化推進」をテーマとした特集記事を寄稿し、協調安全の国際標準化活動について普及を行った。

記事表題と執筆者

- ・新しい時代の安全：協調安全(Safety2.0)とウェルビーイング
セーフティグローバル推進機構 向殿 政男 会長
- ・国際標準化活動と協調安全
セーフティグローバル推進機構 井上 悟志 理事
- ・協調安全を実現するホリスティックアプローチと要員力量認証制度
セーフティグローバル推進機構 梶屋 俊幸 理事
- ・協調安全技術とロボティクスにおける社会実証事例の紹介
セーフティグローバル推進機構 吹田 和嗣 理事
- ・トヨタ自動車の協調安全の取り組みと、IGSAP モノづくり委員会発足の背景
モノづくり委員会 村田 斉彬 委員長（トヨタ自動車株式会社）

- ②公益社団法人自動車技術会（会員数約 45,000 名、賛助会員〈法人〉約 700 社）の学会誌『自動車技術』に、「新しい時代の安全 ～協調安全～」をテーマとした記事を寄稿した。
本記事は、モノづくり委員会の村田斉彬委員長と松浦裕士事務局長によって執筆された。

4)第 9 回向殿安全賞

産業安全の向上と進歩・普及などに貢献した個人または団体を表彰する「向殿安全賞」の募集を行い、審査を経て以下の受賞団体、受賞者が決定した。

表彰式は、前述の未来モノづくり国際 EXPO2024 内で実施した。

[受賞者]

団体（企業）の部

【功績賞】北陽電機株式会社

受賞表題「セーフティレーザスキャナの開発及び普及」

【功績賞】三菱電機システムサービス株式会社

受賞表題「SA 資格制度を活用したロボットシステムインテグレータ育成の実施」

【特別功績賞】国際労働衛生委員会(ICOH)

受賞表題「世界的な労働安全衛生分野における貢献」

個人の部

【功労賞】小澤 守 氏〔関西大学 名誉教授〕

受賞表題「機械安全及び社会安全への貢献」

【功績賞】落合 一幸 氏〔落合労働安全コンサルタント事務所・代表〕

受賞表題「電気関係事業における労働安全への貢献」

【功労賞】Mr. Joaquim Pintado Nunes〔国際労働機関（ILO）・労働安全衛生部門の責任者〕

受賞表題「世界の労働安全衛生への貢献及び若者に対する働く環境の向上への貢献」

【功労賞】Dr. Tommi Alanko〔Finnish Institute of Occupational Health(FIOH) フィンランド労働衛生研究所〕

受賞表題「世界の働く場の安全健康ウェルビーイング促進に対する主導的貢献」

【功績賞】Ms. Andresa Hernandez〔Siemens 安全担当副社長〕

受賞表題「全世界のシーメンス社で革新的な安全文化構築に貢献」

5)ホームページリニューアル

10 月下旬にホームページのリニューアルを完了した。これは、①会員に対して有益な情報を提供すること(会員ページの新設)、②IGSAP の活動をわかりやすく、またタイムリーに公開することで、IGSAP の認知度向上と新規会員獲得を目指すものである。

6)GISHW (Global Initiative for Safety, Health and Well-being @ EXPO2025 and BEYOND)での活動

「地球市民 80 億人の安全・健康・ウェルビーイング向上の実現を目指す」グローバルな組織 GISHW に、セーフティグローバル推進機構は主催者の一員として参加している。

①EXPO2025-未来への贈り物 80 億人の安全・健康・ウェルビーイング-

GISHW では、一昨年度から、国内外の多くの団体、企業と連携しながら(海外団体とは MOU を締結し、国内団体、企業には後援してもらうなど)、7 月 16 日から 19 日に開催

される EXPO2025 での「安全・健康・ウェルビーイング」シンポジウムや展示会など7つのイベントの企画・準備を進めている。

<7つのグローバルイベント>

- ◇ハイレベル・サミット：すべての人の安全、健康、ウェルビーイングについて
国際専門機関・団体とグローバル企業リーダーたちによる議論・意見交換
- ◇プロフェッショナル世界大会：労働安全衛生に関する専門家たちの世界大会
8つのテーマで議論（4つのワークショップ）
- ◇国際シンポジウム：ポリシー・セッション（安全・健康・ウェルビーイングのための政策）とプラクティス・セッション（安全・健康・ウェルビーイングのための活動事例）
- ◇ILO ユース कांग्रेस：デジタル時代の若者が考える職場におけるウェルビーイング
高校生・大学生対象のピッチコンテスト
- ◇フェスティバル：未来社会に繋がるウェルビーイングテクノロジーなどを楽しみながら
体感
- ◇展示会：未来モノづくり国際 EXPO2025 内においてウェルビーイングテクノロジー展、
ウェルビーイング建設技術展、ウェルビーイング・ファインバブル産業展を開催
- ◇国際標準化フォーラム：“いのち輝く未来社会のデザイン”のための安全・健康・ウェル
ビーイングと標準化をテーマに、AI、ロボティクスによる協調安全の実現、ウェルビー
イングと標準化について講演やパネル形式で討議

②GISHW 東京円卓会議

一般財団法人キヤノングローバル戦略研究所主催で、世界の著名な専門家や IGSAP 関係者による講演に加え、5つのテーマに基づいた討議を実施した。IGSAP は、EXPO2025 に向けて世界各国と連携して推進する「安全・健康・ウェルビーイング」の考え方について講演した。

「安全・健康・ウェルビーイングの将来：ヒューマン・ロボット・インタラクション（HRI）を念頭に」

・日時:2024 年 11 月 18 日（月）13:00～17:00

・場所:日本工業倶楽部

・プログラム

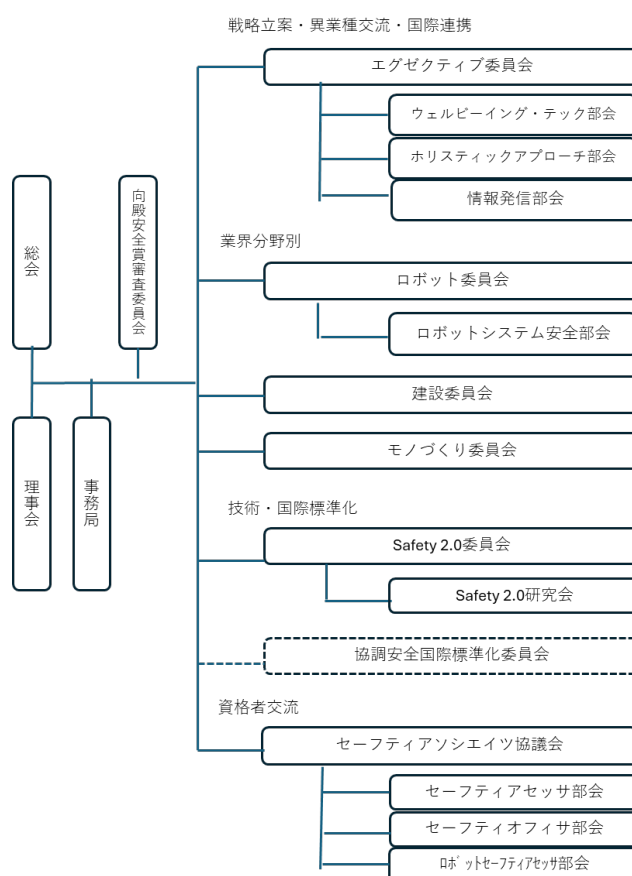
ーGISHW 最新情報&大阪エグゼクティブ委員会会議報告

ーSession1:世界の企業・機関による安全・健康・ウェルビーイングテクノロジーの活用
事例：日本、ドイツ、デンマーク

- －Session2:職場における安全・健康・ウェルビーイング（SHW）のグローバル課題
- －Session3:万博が目指すもの：SHW@Work への参加と様々な分野における共創の可能性
- －World Café(討議)
 - Topic 1: ビジョンゼロとリーダーシップ
 - Topic 2: デジタルリゼーション、AI&ロボティクス
 - Topic 3: ウェルビーイング テクノロジー：誰ひとり取り残さない
 - Topic 4: 万博 SHW デイズプログラムの紹介&世界へのプロモーション
 - Topic 5: EXPO2025 での共創のターゲット – SHW デイズ

3.委員会活動

2024 年 1 月に設置・始動した「モノづくり委員会」が本格的に活動を開始した。それぞれの委員会・協議会・部会においては、その組織の魅力度の向上を目指し、実施計画に基づいた活動を実施した。目標のひとつであった委員会間の連携については、安全経営フォーラムや GISHW の活動(ウェルビーイングテックフォーラム、東京円卓会議など)を通じて、安全・健康・ウェルビーイングに関する情報を共有して活動を行った。



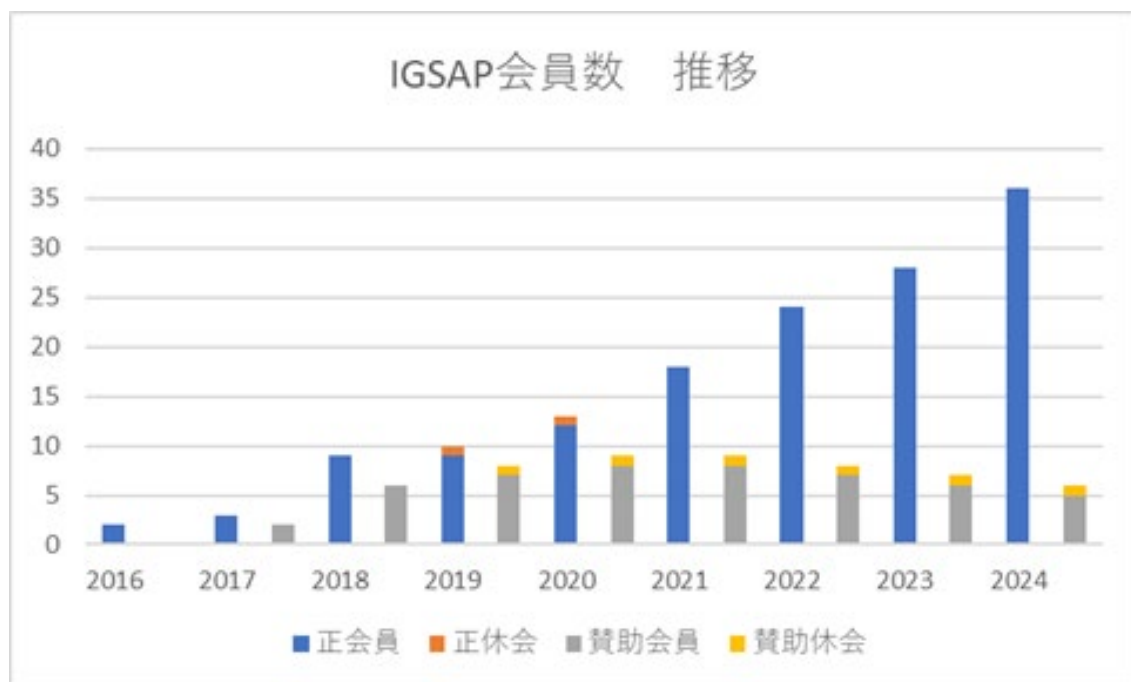
図：セーフティグローバル推進機構 の組織図

委員会、研究会、部会	責任者
エグゼクティブ委員会、安全経営フォーラム	藤田委員長
ロボット委員会	小平委員長
建設委員会	河田委員長
モノづくり委員会	村田委員長
Safety2.0委員会	谷川委員長
Safety2.0研究会	谷川主査
ロボットシステム安全部会	野田部会長
ウェルビーイング・テック部会	北條部会長
ホリスティックアプローチ部会	梶屋部会長
情報発信部会	荻原部会長
S A協議会	小平会長
S A部会	藤田部会長
R S A部会	圖子部会長
S O部会	黒澤部会長

表：各組織長

4. 会員数

2024 年度は、モノづくり委員会への参加を希望する企業を中心に、法人正会員として沖電気工業株式会社、新東工業株式会社、株式会社トヨコー、パナソニック ホールディングス株式会社、大和ハウス工業株式会社、西松建設株式会社、ファナック株式会社、NTT アノードエナジー株式会社の 8 社が新たに入会した。しかしながら、賛助会員の西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社と株式会社レールソリューションズの 2 社が退会した。引き続き新規会員の入会を促進していく。



表：会員の入退会推移（2025 年 3 月 31 日現在）

Ⅲ. 定時社員総会・理事会の活動報告

1. 定時社員総会

2024 年 6 月 21 日に定時社員総会を開催し、以下の議案が原案どおりに可決された。

(議案)

第 1 号議案 2023 年度事業報告、ご承認の件

第 2 号議案 2023 年度決算報告、監査報告、ご承認の件

第 3 号議案 2024 年度基本方針及び事業計画、ご承認の件

第 4 号議案 2024 年度収支予算、ご承認の件

第 5 号議案 役員の任期満了に伴う改選、ご承認の件

2. 理事会

2023 年 4 月から 2024 年 3 月までの間に理事会を 5 回開催し、以下の事項について決議を行った。

(1) 第 1 回理事会 (2024 年 5 月 30 日)

(議決事項)

第 1 号議案 理事候補の重任、新任 承認の件

第 2 号議案 正会員入会 承認の件

第 3 号議案 2023 年度実施計画報告と決算報告 承認の件

第 4 号議案 2024 年度実施計画と予算案 (3 月理事会からの改定) 承認の件

第 5 号議案 IGSAP (略称) 使用と商標登録の件

第 6 号議案 セーフティオフィサ規程見直し 承認の件

(報告事項)

1) 社員総会、安全経営フォーラム、懇親会について

2) 委員会年間スケジュール

3) 協賛報告 (一般財団法人日本規格協会、一般社団法人 PL 対策推進協議会)

(2) 第 2 回理事会 (2024 年 6 月 21 日)

(議決事項)

第 1 号議案 会長 (代表理事) 選定の件

(3) 第 3 回理事会 (2024 年 9 月 5 日)

(議決事項)

- 1)第 1 号議案 正会員入会、個人正会委員入会 承認の件
- 2)第 2 号議案 電子取引データの訂正及び削除の防止規程制定、委員会規程改定 承認の件
- 3)第 3 号議案 建設 SO の開始 承認の件
- 4)第 4 号議案 執行理事体制の実施 承認の件

(報告事項)

- 1)ホームページリニューアル PJ の進展状況
- 2) EXPO2025 に向けた活動
”GISHW (大阪/東京イベント)、モノづくり EXPO2024 シンポジウム”
- 3 吹田理事ドイツ出張の件
- 4) Safety 2.0 適合審査の拡大案

(4)第 4 回理事会 (2024 年 12 月 12 日)

(議決事項)

- 第 1 号議案 SA 部会長、SO 部会長 承認の件
- 第 2 号議案 Safety2.0 関連規定の改定 承認の件
- 第 3 号議案 向殿安全賞の関連規程の改定 承認の件

(報告事項)

- 1)本年度予算の進捗状況
- 2)来年度計画と本年度計画についての方針
- 3)大阪・東京の GISHW 会議報告と EXPO2025 に向けて
- 4)ホームページのリニューアル

(5)第 5 回理事会 (2025 年 3 月 13 日)

(議決事項)

- 第 1 号議案 会長交代および名誉会長規程承認の件
- 第 2 号議案 モノづくり委員会委員長承認の件
- 第 3 号議案 正会員入会承認の件
- 第 4 号議案 顧問の来期契約の件
- 第 5 号議案 来年度計画、各委員会、部会承認の件
- 第 6 号議案 来年度予算案承認の件

(報告事項)

- 1) 緑十字賞、顕功賞推薦について 資料 7
- 2) 安全経営フォーラム、社員総会について
- 3) 理事会日程

- 4) 協調安全のリスクアセスメント（一般財団法人日本規格協会の公募制度活用）
- 5) EXPO2025 に向けての GISHW の活動

項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
社員総会			21 日									
理事会		30 日	21 日			5 日			12 日			13 日
建設委員会		22 日			29 日			26 日			27 日	
ロボット委員会		20 日			19 日				2 日		17 日	
ロボットシステム 安全部会		20 日			9 日				2 日		17 日	
Safety2.0 委員会		22 日			29 日			26 日			27 日	
Safety2.0 研究会		22 日			29 日			26 日			27 日	
エグゼクティブ 委員会						13 日			12 日			13 日
安全経営フォーラム			21 日									
モノづくり委員会	25 日	27 日		22 日		10 日	22 日		10 日		26 日	11 日

表：2024 年度総会、理事会、委員会、部会、研究会の開催実施日一覧

以上